

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 登録実用新案公報(U)

(11) 実用新案登録番号

実用新案登録第3134099号  
(U3134099)

(45) 発行日 平成19年8月2日(2007.8.2)

(24) 登録日 平成19年7月11日(2007.7.11)

(51) Int. Cl. F 1  
A 4 7 J 19/02 (2006.01) A 4 7 J 19/02 A

評価書の請求 未請求 請求項の数 7 O L (全 5 頁)

(21) 出願番号 実願2007-3799 (U2007-3799)  
 (22) 出願日 平成19年5月24日(2007.5.24)  
 (31) 優先権主張番号 095209143  
 (32) 優先日 平成18年5月26日(2006.5.26)  
 (33) 優先権主張国 台湾(TW)

(73) 実用新案権者 507171498  
 謝來成  
 台湾台北縣新莊市化成路29巷16號  
 (74) 代理人 110000338  
 特許業務法人原謙三国際特許事務所  
 (72) 考案者 謝來成  
 台湾台北縣新莊市化成路29巷16號

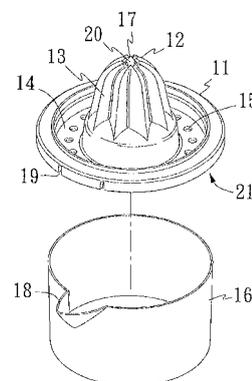
(54) 【考案の名称】 マニュアル式のジューサー構造

## (57) 【要約】

【課題】本考案が開示するマニュアル式のジューサー構造は、ユーザーに、オレンジ、レモン等の果物から搾り取った果汁を提供すると共に、ユーザーに使用プロセスにおける利便性をも提供する。

【解決手段】本考案に係るマニュアル式のジューサー構造は手動によりジュースを作る器具であり、それはジューサー台座 11 を含み、その中央箇所上に突起した円錐部 2 を有し、その周縁部に複数のリブ状の突起部 13 を有し、前記円錐部 2 の中心点には開口部 20 を有し、開口部 20 の周縁に少なくとも一つの上に突起したストッパーのための刺し部 17 を持つ。手動によりジュースを作る場合は、果物本体を固定し果汁を搾り取り易いようにすることができる。

【選択図】 図 2



## 【実用新案登録請求の範囲】

## 【請求項 1】

ジュース台座を含み、その中央箇所の上に突起した円錐部を有し、その周縁部に複数のリブ状の突起部を有し、前記円錐部の中心点に開口部を有し、開口部周縁に少なくとも一つの上に突起したストッパーのための刺し部を持つことを特徴とするマニュアル式のジュース構造。

## 【請求項 2】

前記ジュース台座の周縁部内側と前記円錐部底辺にディスク部を有すると共に、前記ディスク部は複数のホールを有することを特徴とする請求項 1 に記載のマニュアル式のジュース構造。

10

## 【請求項 3】

さらに受け皿を含み、前記受け皿の頂部にディスク部のホールから流した汁液を受けるための開口部を有することを特徴とする請求項 1 に記載のマニュアル式のジュース構造。

## 【請求項 4】

前記受け皿の上端にさらに外へ突出した流し口を含むことを特徴とする請求項 3 に記載のマニュアル式のジュース構造。

## 【請求項 5】

前記ジュース台座の周囲箇所に前記受け皿頂部の開口部に対応して置いて固定できる環状入れ部を有することを特徴とする請求項 3 に記載のマニュアル式のジュース構造。

20

## 【請求項 6】

前記環状入れ部の周縁部に前記流し口に対応する少なくとも一つ欠口を有することを特徴とする請求項 5 に記載のマニュアル式のジュース構造。

## 【請求項 7】

さらに蓋体を有し、前記蓋体頂面にユーザーが握るためのツマミ部を有すると共に、前記受け皿に被せることができることを特徴とする請求項 3 に記載のマニュアル式のジュース構造。

## 【考案の詳細な説明】

## 【技術分野】

## 【0001】

本考案はマニュアル式（手動）のジュース（果汁搾り器）構造に関し、特に果汁を搾ろうとする果物を固定することができるマニュアル式のジュース構造に関する。

30

## 【背景技術】

## 【0002】

現在従来 of ジュースは概ね電動と手動に二大区分でき、電動式ジュースには省力というメリットがあるが、価格が高めでしかも電力を使用しなくてはならず、洗浄も不便であるが、手動ジュースのメリット、デメリットは電動式ジュースとは反対である。故にユーザーはそのニーズに応じて購入して使用できるのである。

## 【0003】

前述のジュースは果汁を少量だけ搾りたい場合であれば、多くのユーザーは手動回転式ジュース台座を選んで果汁を搾る器具とする。前述のジュース台座の設計は図 1 で示すように、主に受け皿に置くジュース台座 1 が有り、その中央箇所には上に突起した円錐部 2 が有り、その周縁部に多数のリブ状の突起部 3 を有し、また別にジュース台座 1 の周縁部内側と円錐部底辺の間にはディスク部 4 が有り、そのディスク部 4 には多くのホール 5 が有り、これによってジュース台座 1 をコップややかん等受け皿 6 上に置くことができ、ユーザーは果物を手でジュース円錐部 2 のピークに押え付けて回転させ、ジュース円錐部 2 のリブ状の突起部 3 で果肉との摩擦で押さえ付けて果汁を搾り出すと、果汁がホール 5 から受け皿 6 に滴り落ちることで飲用に供することができる。

40

## 【0004】

然しながら、前述のジュース台座は手動で果汁を搾るという簡便な器具を提供するも

50

の、ジューサーの円錐部のピークには滑り止め機能が付いていないので、果物を押えて回転させる際に果物本体が偏ってしまい勝ちで、果汁を搾り取るのに不利なため、ユーザーに不便をかけている。

【0005】

その上、ユーザーが力を込めて果物を搾ろうとすると、果物本体が偏って力を込める方向が変わってしまい、操作が少し疎かになると受け皿が倒れ易くなり、果汁が流失してしまうこととなる。

【考案の開示】

【考案が解決しようとする課題】

【0006】

本考案はマニュアル式のジューサー構造を開示する。それは、ジューサー台座とその中央箇所の上に突起した円錐部を有し、その周縁部に複数のリブ状の突起部を有し、前記円錐部の中心点に開口部を有し、開口部周縁に少なくとも一つの上に突起したストッパーのための刺し部を持つことを含む。これにより手動で果汁を搾り取る際に、果物本体を固定して果汁を搾り取り易くすることができる。

10

【0007】

本考案が開示するマニュアル式のジューサー構造はユーザーに、オレンジ、レモン等の果物から搾り取った果汁を提供すると共に、ユーザーに使用プロセスにおける利便性をも提供する。

【課題を解決するための手段】

20

【0008】

本考案が提供するマニュアル式のジューサー構造は手動で果汁を搾り取る器具とすることができ、それはジューサー台座とその中央箇所の上に突起した円錐部を有し、その周縁部に複数のリブ状の突起部を有し、前記円錐部の中心点に開口部を有し、開口部周縁に少なくとも一つの上に突起したストッパーのための刺し部を持つことを含む。これにより手動で果汁を搾り取る際に、果物本体を固定して果汁を搾り取り易くすることができる。

【0009】

当業者の本考案に関する目的、特徴及び効果の理解のために、下記に具体的実施例を述べ、添付図面と合わせて、本考案に関し詳細な説明を後述することとする。

【考案を実施するための最良の形態】

30

【0010】

図2は本考案のマニュアル式ジューサーの具体的実施例であり、それはジューサー台座11とその中央箇所の上に突起した円錐部2を有し、その周縁部に複数のリブ状の突起部13を有し、前記円錐部(頂部)12の中心点に開口部20を有し、開口部周縁に少なくとも一つの上に突起したストッパーのための刺し部17を持ち、また別にジューサー台座11の周縁部内側と円錐部底辺の間にはディスク部14が有り、そのディスク部14には多数のホール15が有り、ジューサー台座11の周縁部にはコップ等のような受け皿16に対応する外へ突出した流し口18の欠口19を有する。

【0011】

図3は図2で示したジューサー台座11及び受け皿16を組立てた最適な実施例図である。

40

【0012】

図4は図3のA-A線の断面図である。

【0013】

図5は本考案に基づくマニュアル式ジューサーの具体的実施例であり、図2と合わせて示すように、ジューサー台座11の外縁には前記受け皿16頂部の開口部に対応して置くことができ、且つ固定できる環状入れ部21を設け、ユーザーはジューサー台座11をコップのような受け皿16に置くと、手動でオレンジやレモン等の果物をジューサー台座11の頂部12のピークに押え付けて回転させる。また、頂部12のピークには開口部20が有り、開口部20の周縁部には果物を突き刺して固定することができるストッパーのため

50

の刺し部 17 を設け、そして頂部 12 にあるリブ状の突起部 13 と果肉との摩擦で押え付けて果汁を搾り出すと、果汁はジュース台座 11 のホール 15 からコップのような受け皿 16 内に滴り落ちて溜まり、また、果汁を受け皿 16 の流し口 18 から注いで、ユーザーの飲用に供することができる。

【0014】

図 6 は本考案に基づくマニュアル式ジュースを保管しておく最適な実施例であり、ユーザーが果汁を搾り終わると、ジュース台座 11 を、頂部 12 を受け皿 16 の底部に向ける方法で置くことができ、また同時に蓋体となるフタ 22 を有し、フタの頂部にはユーザーが抓むためにツマミ部を設けて、ジュース台座 11 と受け皿 16 に被せて保管スペースを節減することもできる。

10

【0015】

以上系統立てて述べてきたことにより、本考案の実施方法が明確に理解できるが、以上の記述は本考案の最適な実施例に過ぎず、これをもって本考案の実施範囲を限定するものではない。即ち、本考案が申請する特許範囲において行なった均一の変更若しくは修正についても、全て本考案による技術の範囲内とする。

【図面の簡単な説明】

【0016】

【図 1】従来のマニュアル式ジュースの概略図である。

【図 2】本考案のマニュアル式ジュースの立体分解概略図である。

【図 3】本考案のマニュアル式ジュースの立体構成概略図である。

20

【図 4】本考案図 3 の A - A 線に基づくマニュアル式ジュースの断面概略図である。

【図 5】本考案のマニュアル式ジュースの最適な実施例図である。

【図 6】本考案のマニュアル式ジュースの保管状態を表す最適な実施例図である。

【符号の説明】

【0017】

1 ジュース（果汁搾り器）台座

2 円錐部

3 リブ状の突起部

4 ディスク部

5 ホール

30

6 受け皿

11 ジュース台座

12 頂部

13 リブ状の突起部

14 ディスク部

15 ホール

16 受け皿

17 ストッパーのための刺し部

18 流し口

19 欠口

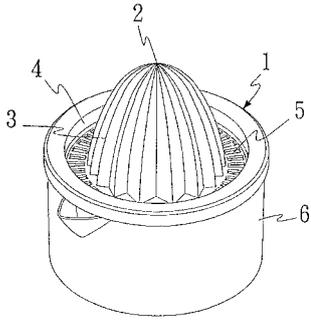
40

20 開口部

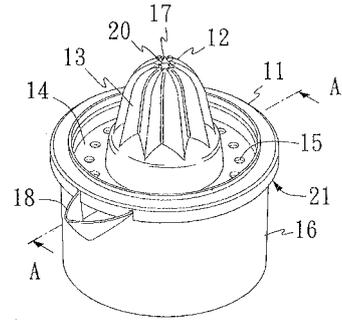
21 環状入れ部

22 蓋体

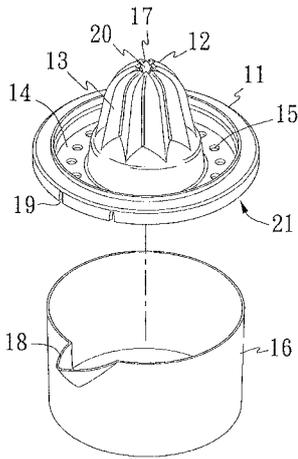
【 図 1 】



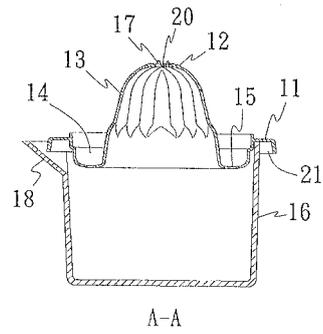
【 図 3 】



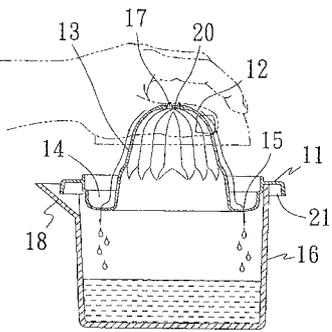
【 図 2 】



【 図 4 】



【 図 5 】



【 図 6 】

